

サポーターカンファレンス



An aerial photograph of Fukuoka, Japan, showing a dense urban landscape with numerous skyscrapers and buildings. The city is situated along a river, with a large bridge visible in the foreground. The sky is overcast.

ギラヴァンツ北九州 チーム強化方針

2018年1月27日

昨季の反省・課題・分析

成績

試合
内容

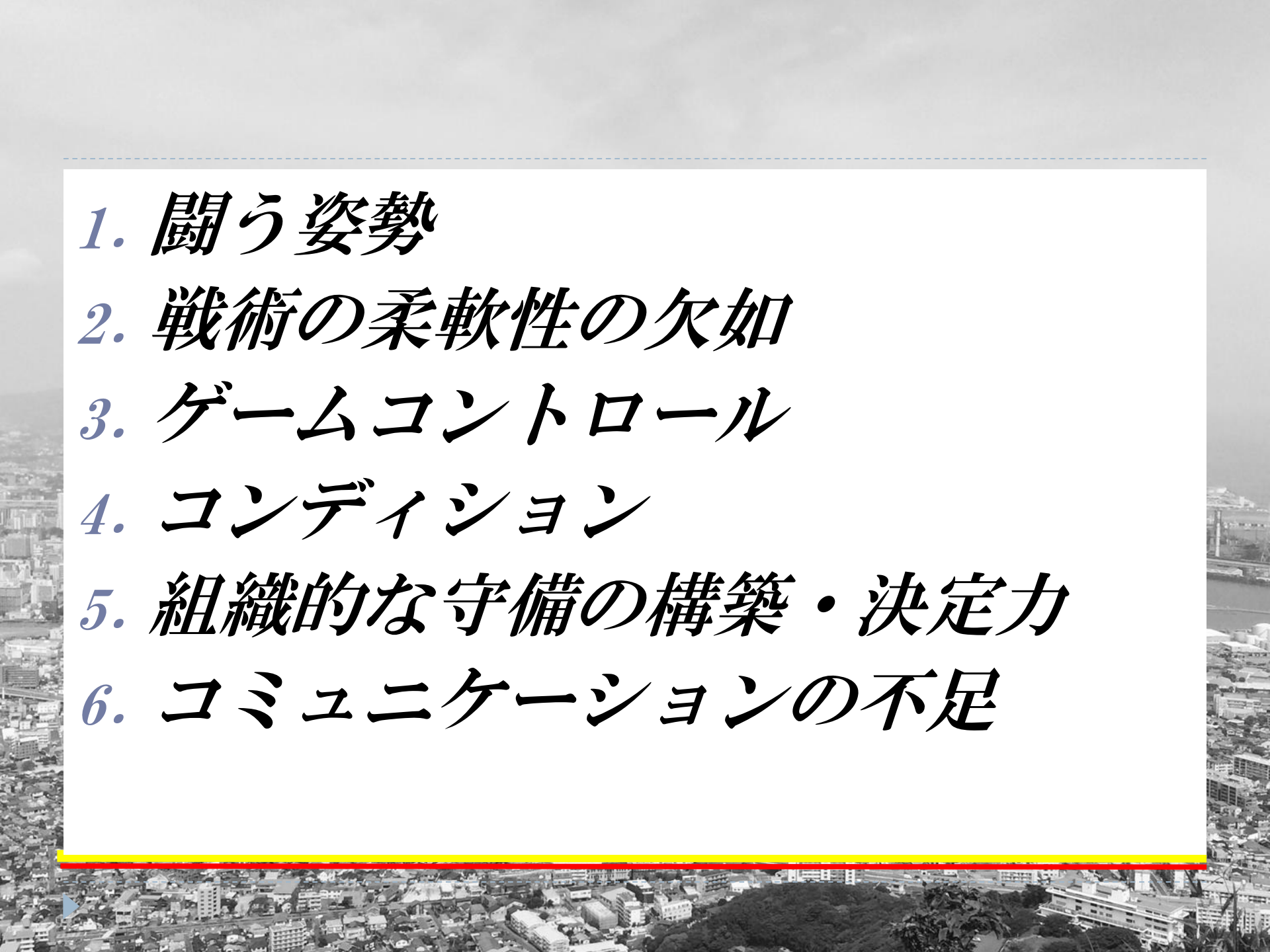
結果

厳粛に受け止め

選手評価

試合評価



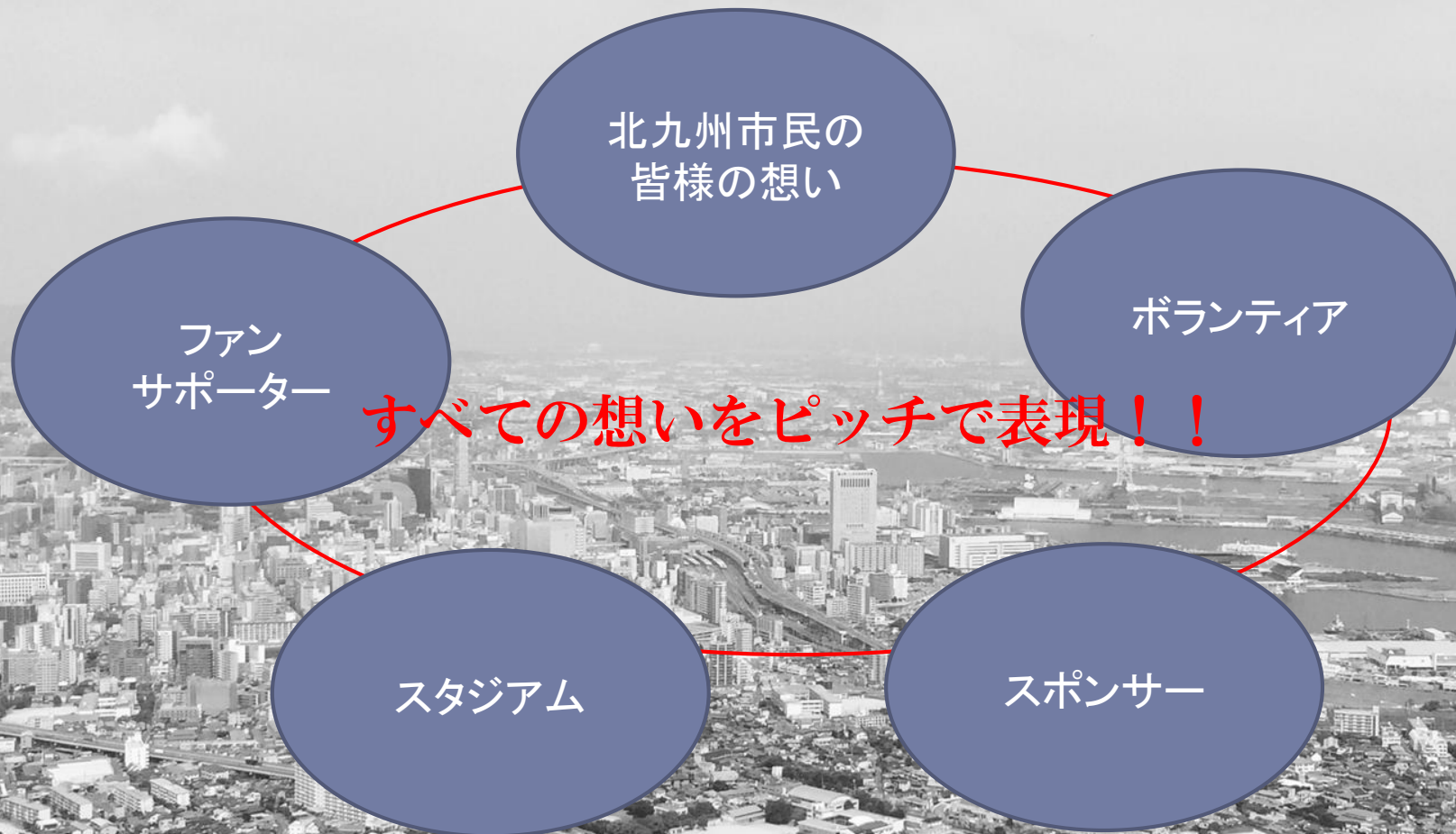
- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

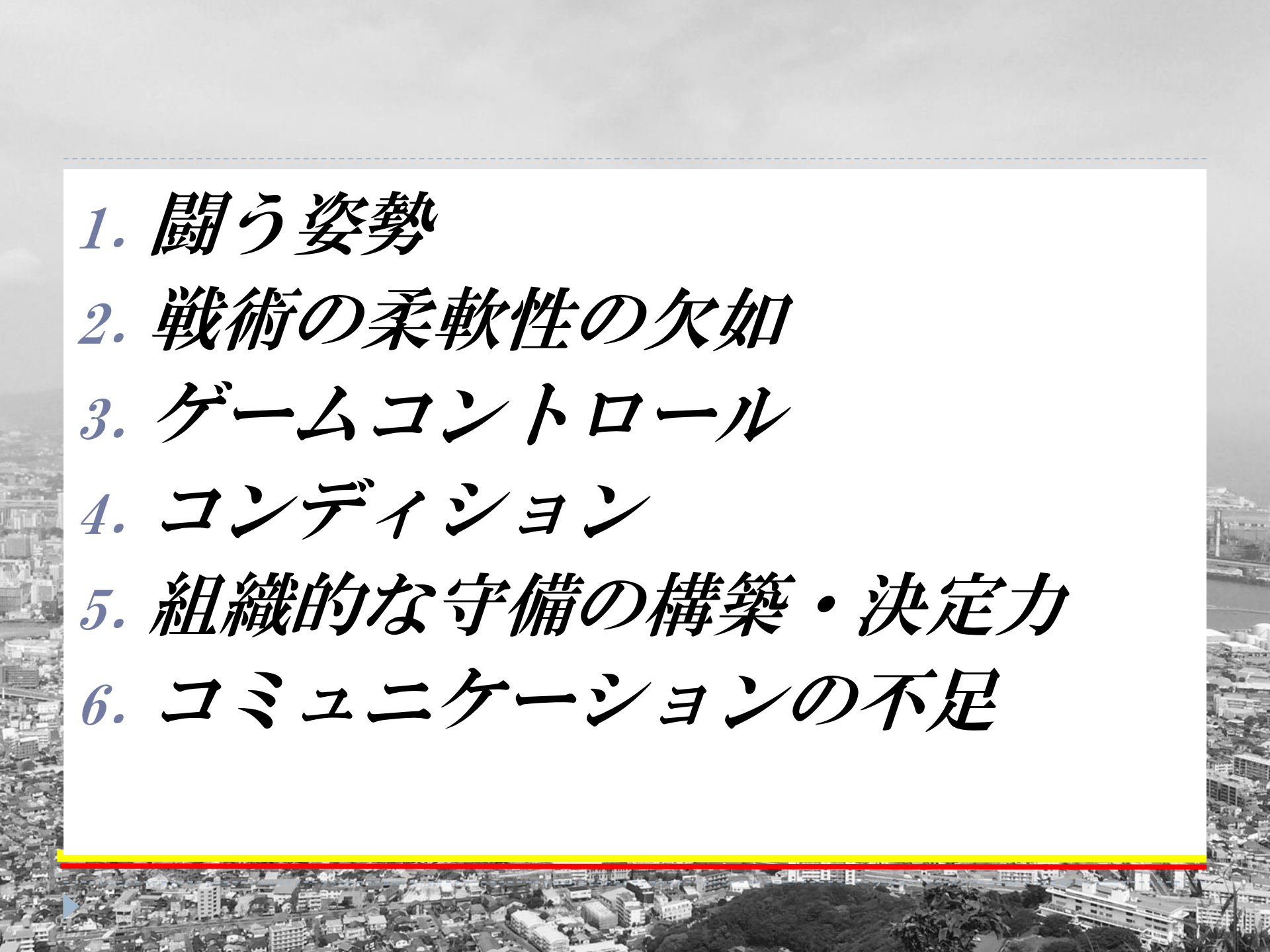
1. 闘う姿勢

《絶対に昇格する！！》

本気度、闘う姿勢、危機感の欠如

1. 闘う姿勢



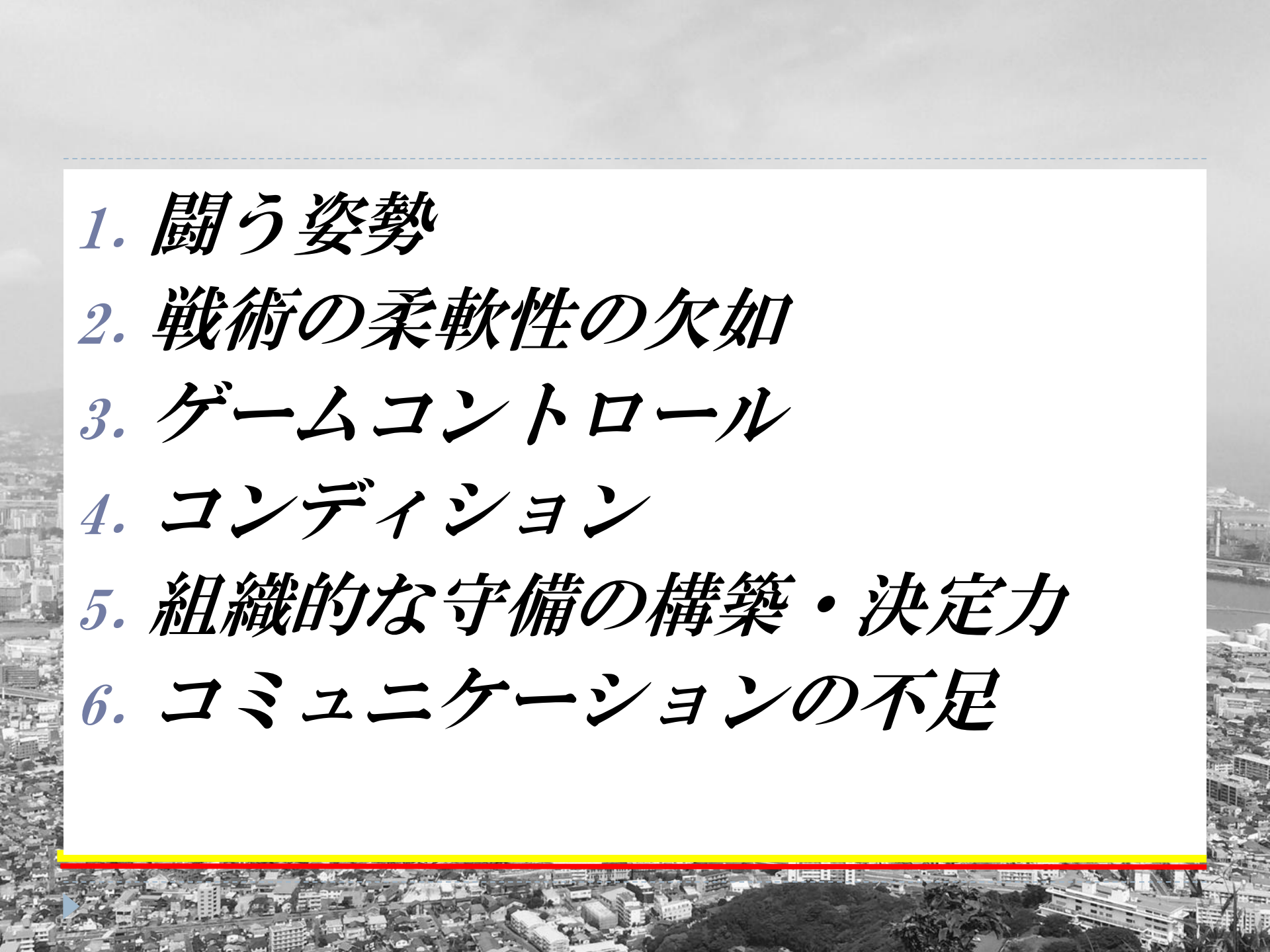
- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

2. 戦術の柔軟性の欠如

- ・積極的な戦い方
- ・自チームの状況把握
- ・選手の組み合わせ(スタメン起用選手数26人)
- ・相手チームに対しての柔軟な対応



- ・ホームゲームでの積極的な戦い
- ・試合状況に応じた戦術的な変更、柔軟性のある対応力
- ・昇格するための戦い方(引き分けの重要性)
- ・統一性、連動性(TRの中で落とし込んでいく)

- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

3. ゲームコントロール

- 試合の進め方

先制点 秋田21試合(うち18試合勝利)

北九州15試合(うち11試合勝利)

現代のFootballは先制点のアドバンテージが非常に高い ※2017シーズンデータ

- 試合の締めくり方

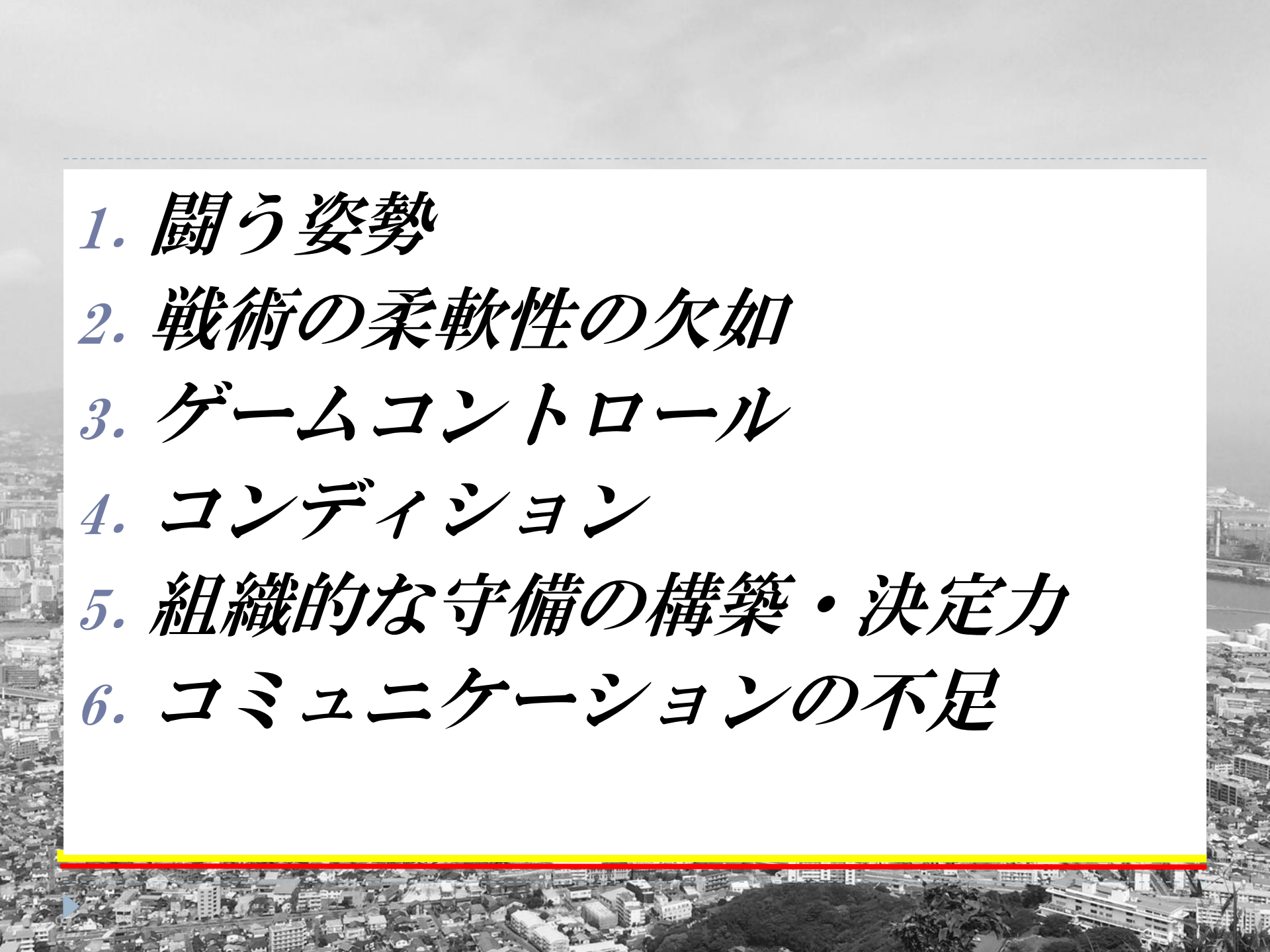
76分からの失点(16点/41失点:39%)がJ3下位

運動量の低下 ⇒ 集中力を欠き失点

- 交代選手による活性化(ジョーカー不在)

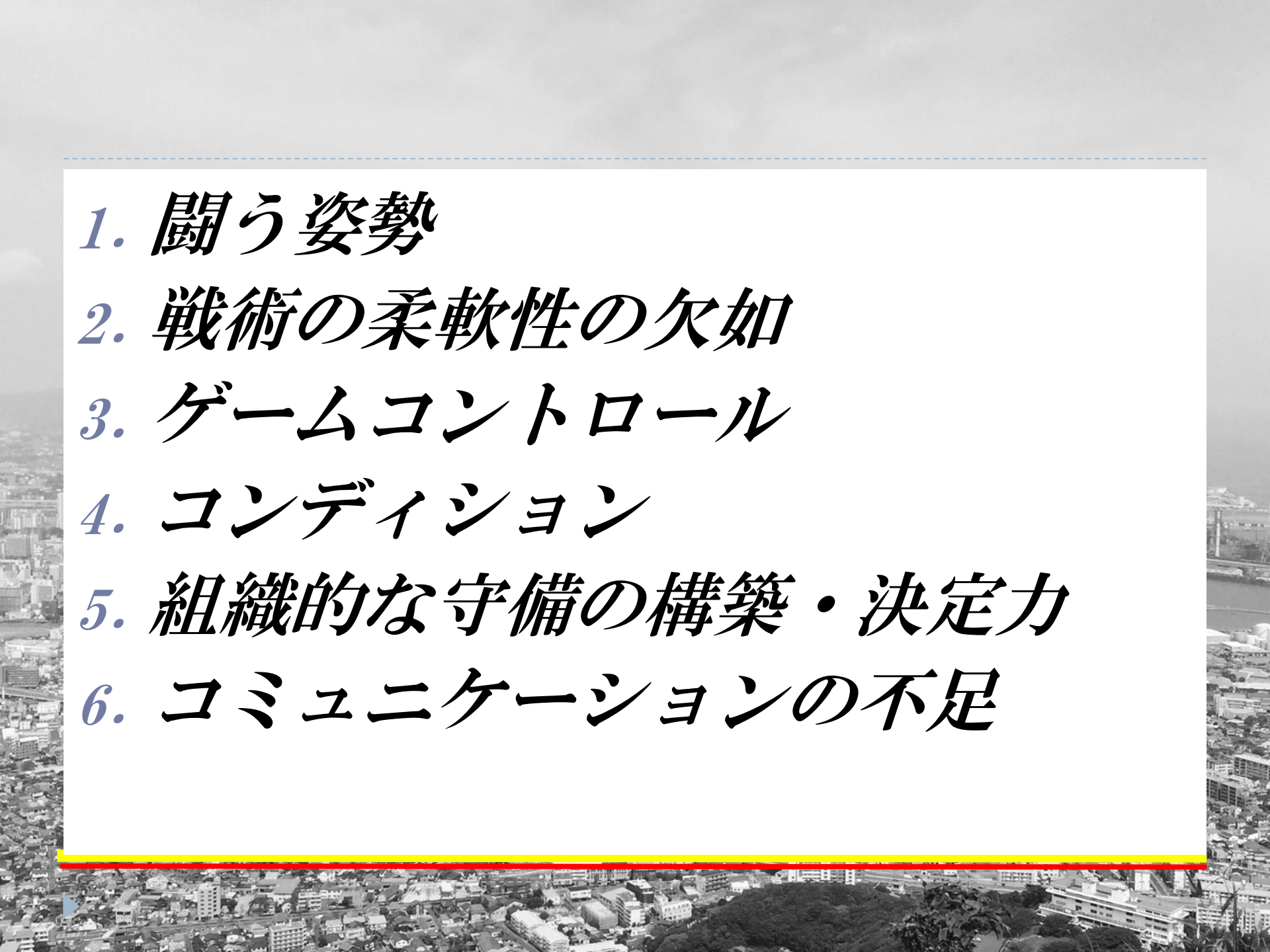
- 役割の明確化

- Set playの重要性

- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

4. コンディション

- 運動量の使いどころ(賢く走る)
- 運動量不十分、攻守における積極性の欠如
(日頃のTRの強度を上げる)
- Duel: 球際、1対1
- 怪我人

- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

5.組織的な守備の構築・決定力

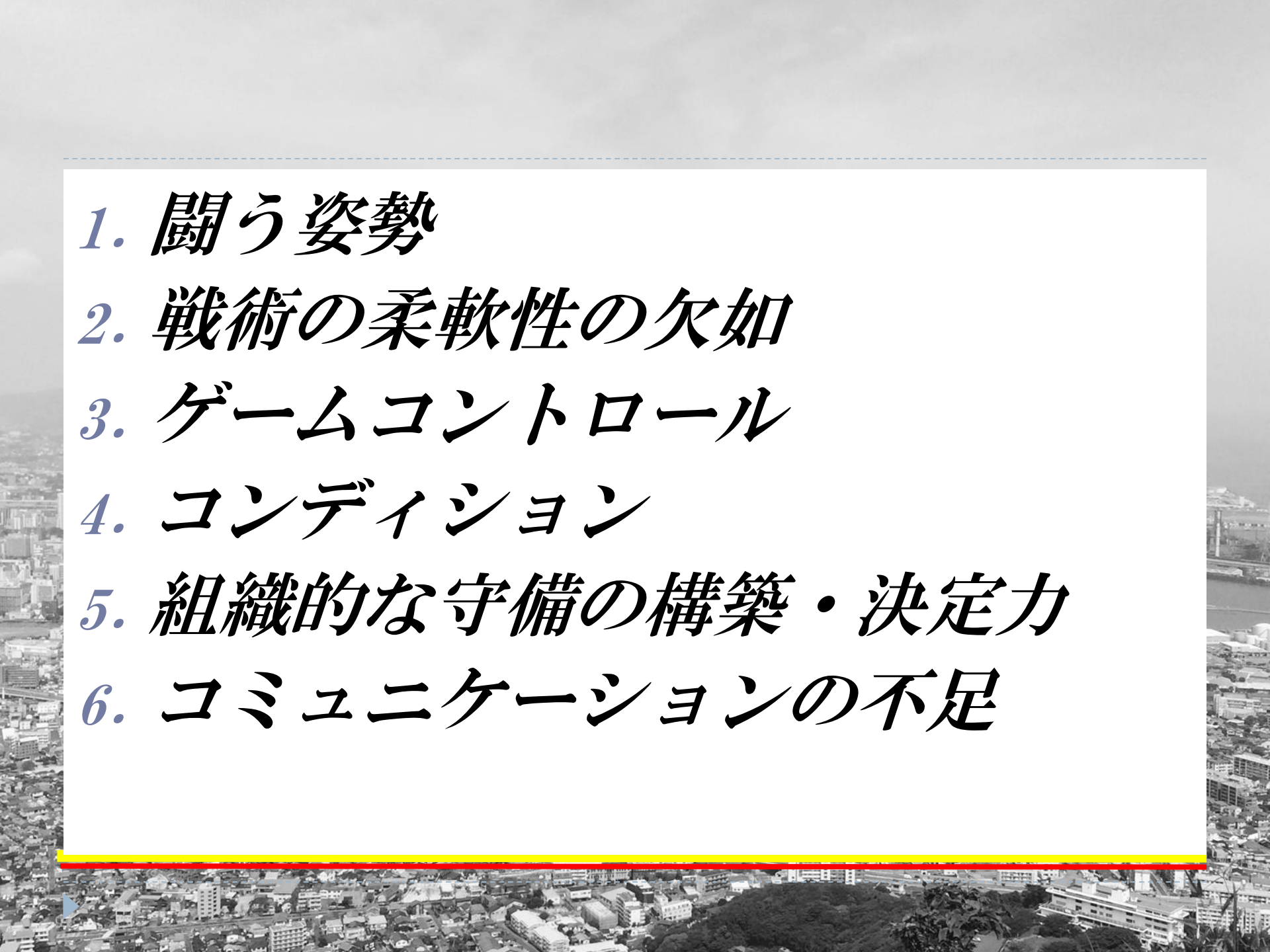
●統一された守備

チームとしてどこで、どのようにして、どうやって奪うかを共有する

●アタッキングサードの質の向上

突破のバリエーション(個人、グループ、チーム)

クオリティーの向上

- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームコントロール
 4. コンディション
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

6. コミュニケーションの不足

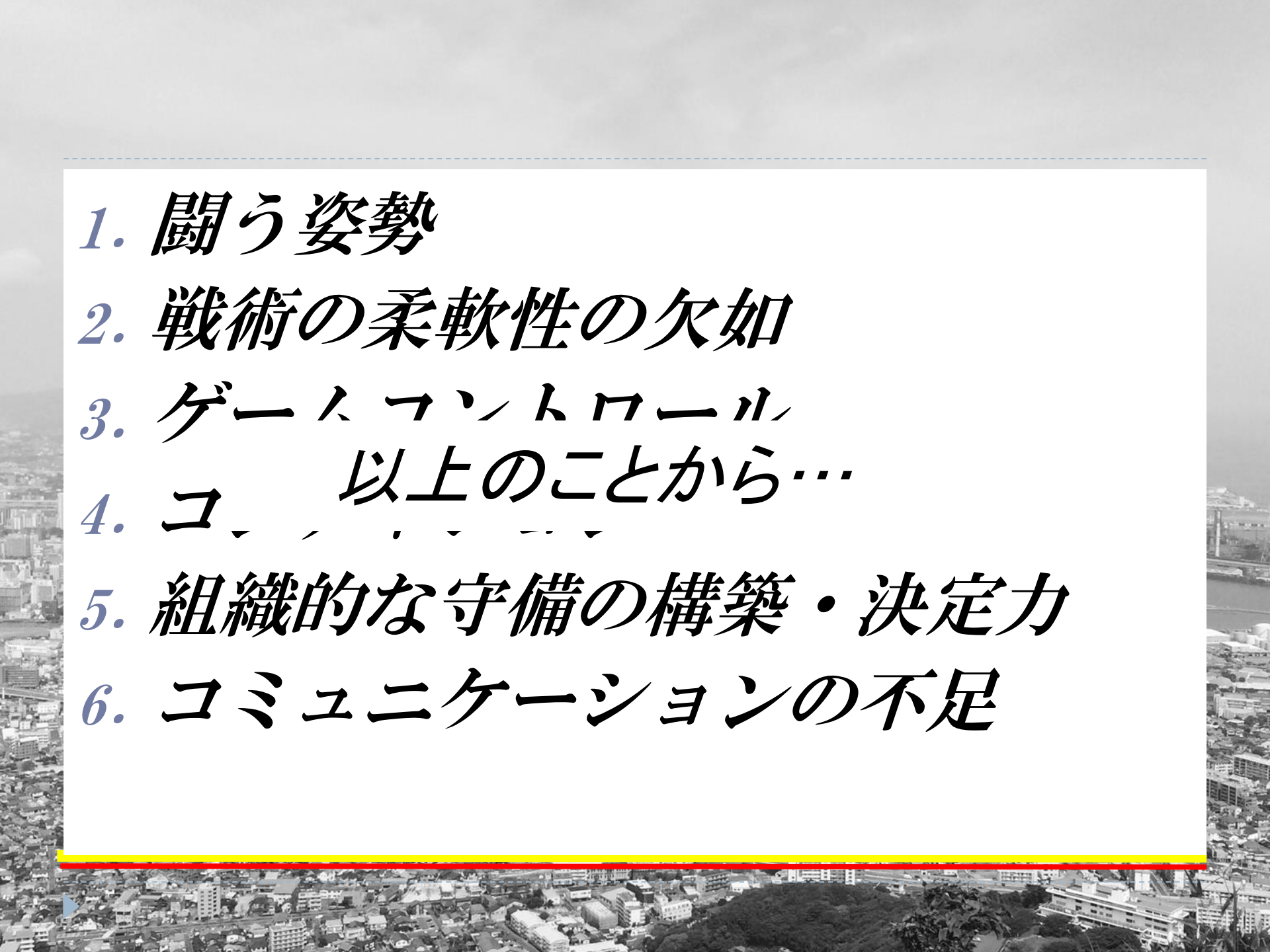
- クラブとしての一体感

クラブ ⇄ ファン・サポーター

チームスタッフ ⇄ 選手

チーム ⇄ フロント

選手 ⇄ 選手

- 
1. 闘う姿勢
 2. 戦術の柔軟性の欠如
 3. ゲームフロントロール
 4. コレ以上のことから...
 5. 組織的な守備の構築・決定力
 6. コミュニケーションの不足

スタイル

「ポゼッション」「パスサッカー」「堅守速攻」
「プレッシングサッカー」のいずれかをやるかではなく、

状況に応じて判断することが重要

不変的な事

- 攻守の切り替え
- ハードワーク
- 球際 (Duel)
- 1対1で勝つ
- ゴールに向かう強い姿勢
- ゴールを守る粘り強さ
- 魂

ギラヴァンツ北九州の

サッカーの確立

トータルフットボール

全員攻撃・全員守備



やらなければならない事！

- 本気で日常を変える
日々の練習から本気で取り組む姿勢
- プロサッカー選手（Jリーガー）としての自覚
- 24時間 J2昇格のために生活する
- トレーニング、食事（栄養管理）、睡眠（休養）のバランス
キャンプ中の味の素様 栄養管理士による講習会、選手寮の栄養管理士による
食事メニュー設定、選手奥様方への栄養講習会を2月中旬以降に開催予定
- イベント・地域貢献活動・社会貢献への積極的な参加

北九州市民の皆様に愛されるクラブになるために

コーチングスタッフの選出基準

- 新監督の招聘
クラブの目指すトータルフットボールの構築ができる人材の選出
 - J3からJ2昇格監督経験者
 - J2での監督経験者
 - J3で戦う上で重要な戦術的な柔軟性を持つ
 - 多様な戦術オプションを持つ
 - 選手の組み合わせ、バランスを保てる
 - 相手の戦い方に応じた修正力
 - サッカーに対する情熱

コーチングスタッフの選出基準

●コーチングスタッフ

- ・監督からの要望
- ・監督と選手のフィルター役
- ・監督とのコミュニケーションを円滑に行える
- ・チーム状況の把握、適切な対応、気配り
- ・競争力を高める
- ・監督への進言、サポート
- ・サッカーに対する情熱

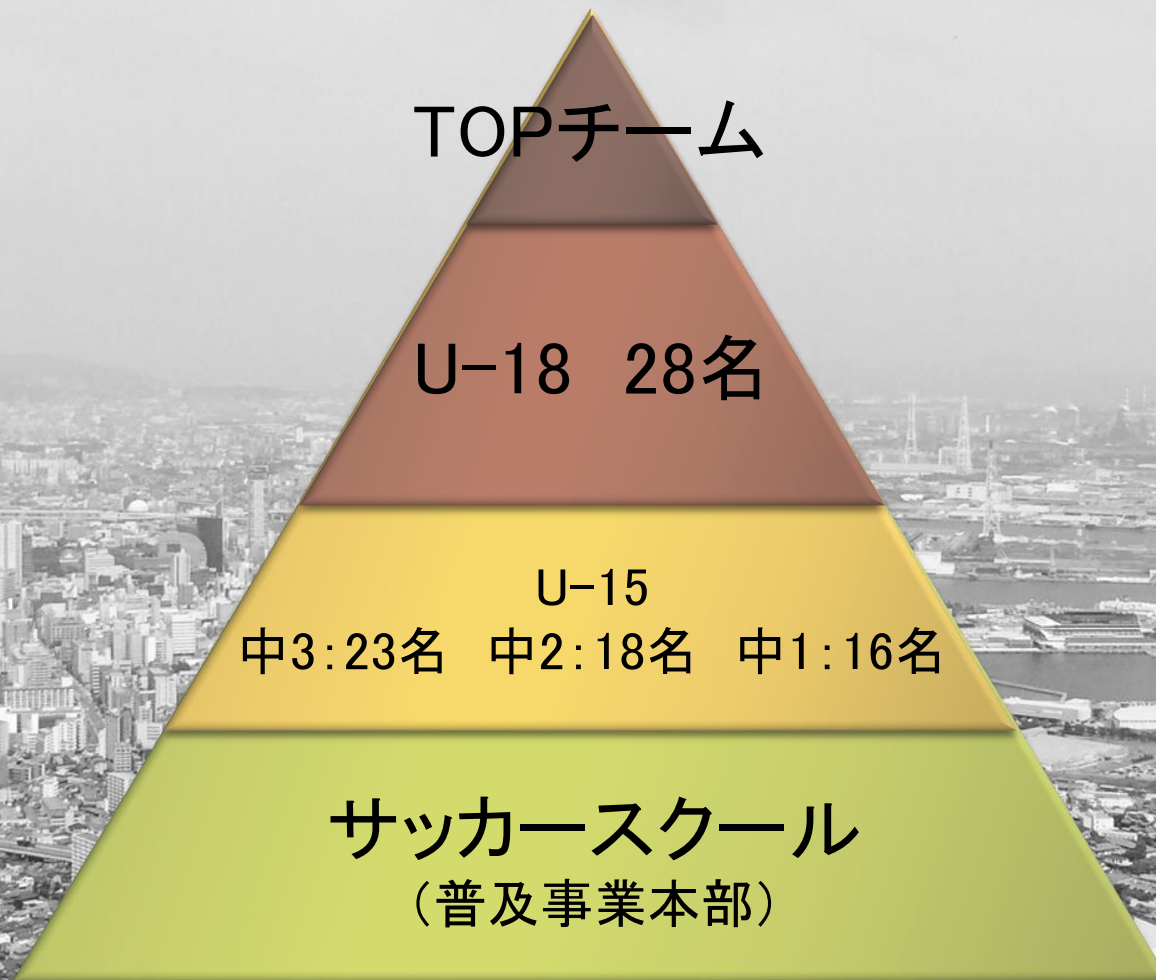
選手編成 補強

- 限られた強化予算内での選手編成
- 森下監督の要望
- 若手、中堅、ベテラン選手の融合
- 北九州の目指すFootballにあった選手
- 守備の中心選手となれる選手
- ストライカー
- ユーティリティプレイヤー
- 北九州のJ2昇格の為に闘える選手
- 将来性

2018年度ギラヴァンツ北九州アカデミー構成



2018年度 構成



強化・育成部

普及事業本部

アカデミーのビジョン①

あるべき姿

- ▶ U-18、U-15ともに北九州を代表するチームとなるべく前進する
選手のレベル、サッカーの内容・質・結果、ピッチ内外での選手、コーチの振る舞い
- ▶ ひとりひとりが太陽となる
 - 家庭：家族が喜ぶ顔を見るために
 - 学校：クラス、学年、学校の模範となる（学業、生活態度、行事への参加）
 - チーム、クラブ：自分の1プレー、1つの言動がチームやクラブのすべてと思われる
→責任と誇り
 - 地域：北九州を代表する選手である
（寮生：地元を代表してJクラブでプレーしている）

アカデミーのビジョン②

将来像

- ▶ トップチームのピッチに主力として立つ
- ▶ 様々な形でクラブに関わる人材になる
- ▶ 異業種での活躍(どんな分野でも輝ける人材となる)

人間としての成長
サッカー選手としての成長

2018年度の目標

- ▶ U-18の2部昇格
- ▶ U-15からU-18への昇格8名
- ▶ セレクション受験生合計250名



5つのMISSION

1. ファン・サポーターファースト
2. FAIR PLAY
3. RESPECT
4. 絶対に最後まで諦めない
5. すべての力を昇格のために注ぐ

目標

J2昇格！

